

■メインケースへの取付け

●右図では、サムラッチタイプを例にとり説明してあります。レバーや他の把手も取付け方法は同じです。

1 最初にメインケースを框へ取り付けます (図-1)

- ①取付けねじで、②メインケースを取り付けます。
- この時、③ラッチの背が室外側に向くようにしておいてください。

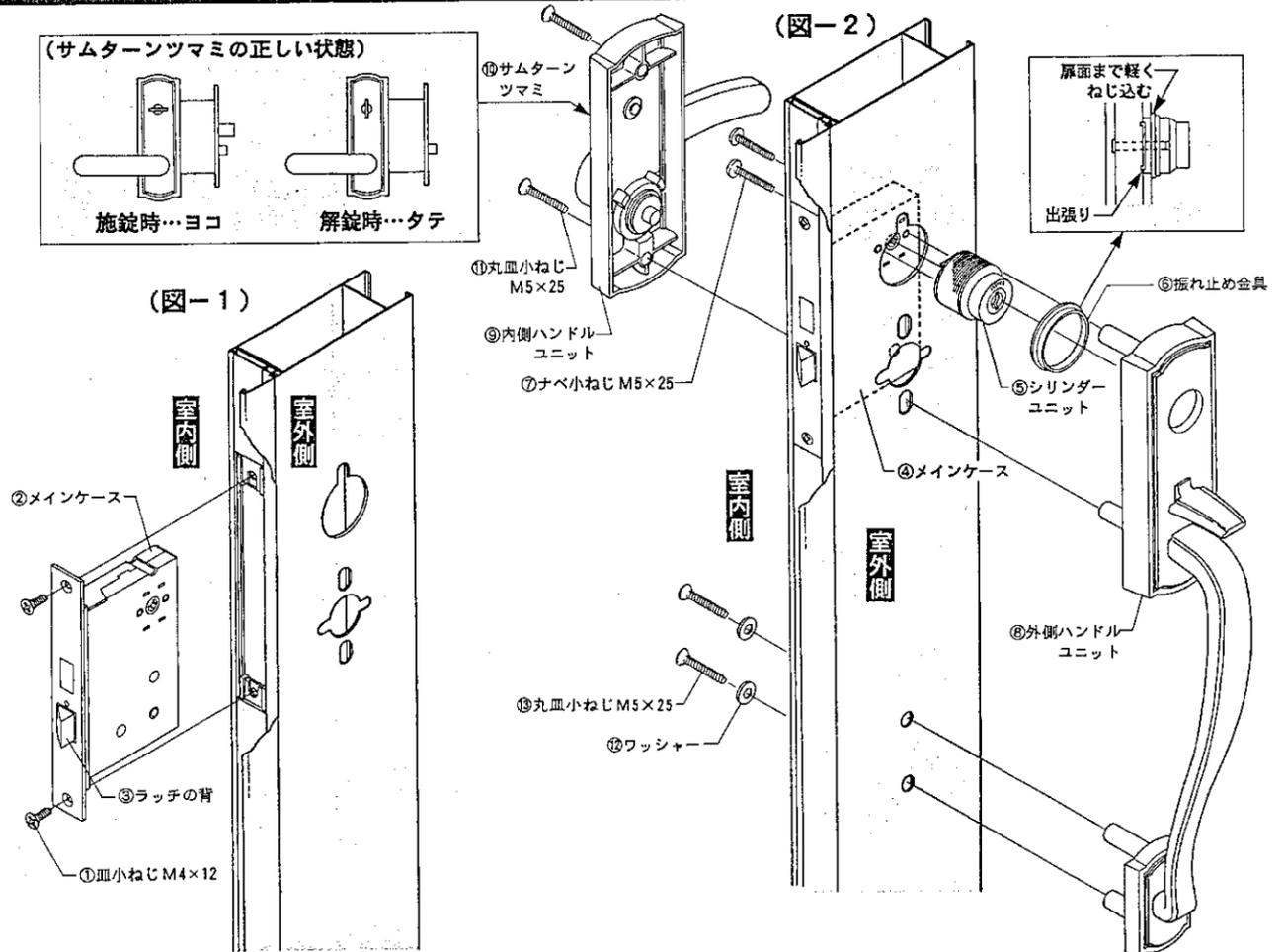
2 シリンダーユニット及びハンドルユニットの取付け (図-2)

- ⑤シリンダーユニットの⑥振れ止め金具を左に回してゆるめます。
- ⑤シリンダーユニットのMIWAマークを上にして、④メインケースに差し込み、室内側より⑦ねじで取り付けます。この時、シリンダーの4か所の出っ張りをメインケースの角穴に合わせてください。
- ⑥振れ止め金具を扉面まで軽く締め込みます。
- ⑨内側ハンドルユニットの⑩サムターンツマミを縦にした状態で④メインケースに差し込み、⑪取付けねじで締め付けます。
- サムラッチタイプの場合は、⑧外側ハンドルユニットの下部を室内側より⑫ワッシャーと⑬取付けねじで締め付けます。

3 固定ハンドルユニットの取付け

固定ハンドルユニットは、両開きタイプの子扉に取り付けます。

取付け方法は、②の⑧外側ハンドルユニット及び⑨内側ハンドルユニットと同じ要領です。ただし、固定ハンドルユニットにはサムターンツマミがありません。



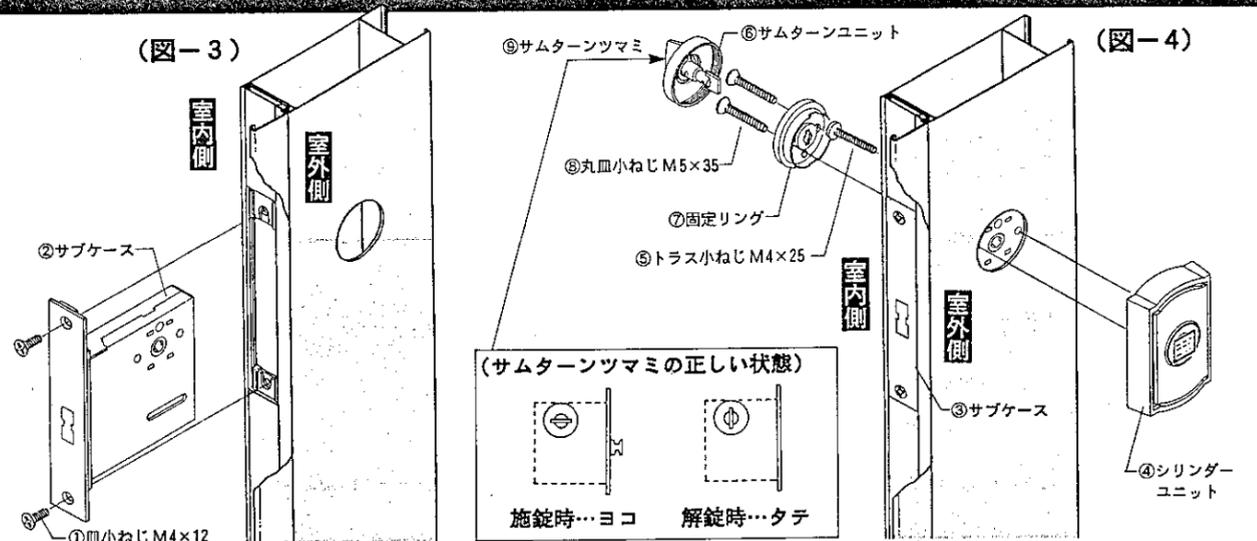
■サブケースへの取付け

1 最初にサブケースを框へ取り付けます (図-3)

- ①取付けねじで、②サブケースを取り付けます。

2 シリンダーユニット及びサムターンユニットの取付け (図-4)

- ④シリンダーユニットのMIWAマークを上にして、③サブケースに差し込み、室内側より⑥ねじで中央上部の穴からシリンダーを固定します。この時、シリンダーの4か所の出っ張りをメインケースの角穴に合わせてください。
- ⑥サムターンユニットから、⑦固定リングを左に回して外します。
- ⑦固定リングを⑧ねじで④シリンダーユニットに取り付けます。
- ⑥サムターンユニットの⑨サムターンツマミを縦にした状態で、③サブケースに差し込み、⑩サムターンユニットの外周を右に回して固定リングにねじ込みます。



■ガードロック及びコンストラクション装置について

●本製品(ポルトシリーズ)は、サブロックにガードロック方式を採用しています。ガードロックは、1つの錠でドアチェーン及び施錠の機能を持っています。

〔操作方法〕

- サムターンを45°回します。(図-5)

戸当たり側からガードアームが引き出され、ガード状態となります。

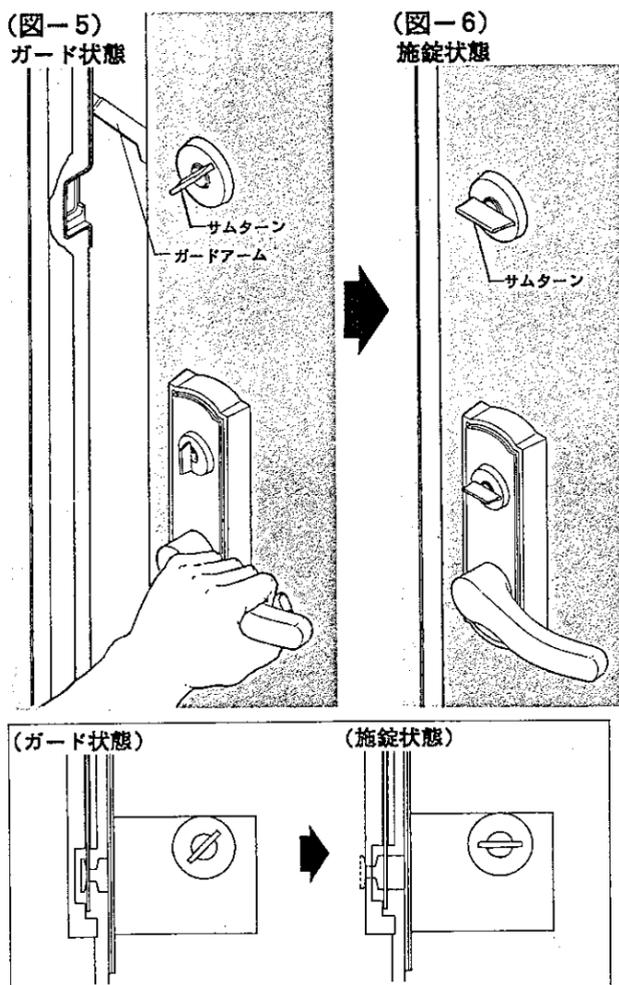
- サムターンを90°回します。(図-6)

ドアは施錠状態となります。

※①、②の操作及び解除は室外側からキーでも操作できます。

〔ご注意〕

外側の建付けが調整されていないとガードロック装置が正常に機能しない場合があります。その際は、外枠に同梱の取付け説明書の「躯体への取付けと透き間の調整」をご覧ください。



●本製品(ポルトシリーズ)は、メインロックにコンストラクション装置を採用しています。ポルトシリーズの現場を施工される場合、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。

施工後、お施主様専用のキーで作動するとコンストラクション装置が解除し、以後はコンストラクションキーでは開閉できなくなります。

〔お願い〕

サブロックには、コンストラクション装置が組み込まれていないため、封印シールを貼付してあります。施工後、シールをはがして、作動を確認後、お施主様にお引き渡しく下さい。

